

チーム医療：呼吸ケアチーム（RST）

—関係部署—

心臓血管外科	循環器内科
外科	口腔外科
血液内科	整形外科
総合内科・感染症内科	呼吸器外科
内科	

—概要—

2010年度の診療報酬改定から、呼吸ケアチーム(RST: Respiratory care Support Team)加算が新設された背景から、当院でも同年よりRSTが結成された。

2018年度は呼吸器内科医師(1名)、肺腫瘍内科医師1名、急性・重症専門看護師(1名)、集中ケア認定看護師(2名)、臨床工学技士(3名)、理学療法士(2名)が引き続きコアメンバーとなり、人工呼吸器離脱及び呼吸ケアに係る専任チームとして活動した。

RSTの目的は、人工呼吸器の離脱に向け、患者家族の苦痛緩和を含む呼吸管理および看護方法の相談を受け、医療チームを支援することである。安全な呼吸ケア提供のために必要な知識を医療者に提供し、医療の質向上を目指した。

2018年度のRST対象患者は41名で昨年とほぼ変わらない実績であった。

活動内容は週1回のラウンド【毎週水曜14時から1時間程度で対象患者は1～数名】に加え、定期ラウンド以外にも個人ラウンド(メンバーが単独で訪問し、主治医・受け持ち看護師と共にケアを実施)を行った。当該部署でのケア継続のために、回診時はRST診療録の記載と、回診内容の口頭・メール伝達を行った。スムーズな呼吸器離脱とその後の呼吸ケアについて助言・支援し、患者の心身の苦痛緩和、安全確保、看護師のケア能力の向上を目指して相談を受け支援を行った。

呼吸ケアに関するデータ収集(人工呼吸器離脱率や再挿管率・離脱成功基準や失敗の理由・依頼状況や要因・人工呼吸器離脱患者数・人工呼吸器日数など)も、継続して行った。

—実績—

RST対象患者は41人(内、挿管患者37名)

総回診数47回

呼吸ケアに関するデータ収集結果

呼吸器離脱成功患者 (24名)

再挿管 (1名)

看護局の教育委員会主催の研修講義

呼吸・循環フィジカルアセスメント

画像と血液データの見方

人工呼吸器装着患者看護

ラダーⅠ(4回)+ラダーⅡa(3回)

新採用者へのRSTチーム活動紹介:1回/年

病棟依頼の勉強会開催 1回

—今年度の成果と反省点—

今年度は挿管患者だけでなく、呼吸器に問題を抱える患者の相談件数が増加した。積極的なRSTの広報と個人ラウンドの強化により、一般病棟での認知度がUPし相談件数が増加したと考える。RSTメンバーも増員され、多角的な視点が増え患者の問題に対して、より積極的にアプローチできるようになった。人工呼吸器関連以外の呼吸ケアの相談件数の増加につながったと考えられる。

—来年度への抱負—

来年度はRSTカンファレンスを開催し、活動の振り返りを行う事で質の向上を図っていく。また、RSTによる勉強会開催を行う事で病棟における呼吸ケアの質の向上を図ってきたい。

